0003 - 04

| | | | 7 | F成 2 | 9 年度行 | 了政 | 事業レビュ | ーシー | | すべ曲 つ 厚生 | |) |
|------------------------------------|---|-------------------|------------|-------------|--------|---------------|--------------------------|--------|-------------------|------------------------|-------|-------|
| 事業名 | 小児救 | 急医療体制の充 | | . ,,, | | | 担当部局庁 | 医政制 | | | | |
| 事業開始年度 | 平成 | 11年度 | 事業 (予定) | 終了)年度 | 終了予定 | なし | 担当課室 | 地域 | | 救急•周産期医療 | 室長:徳本 | 史郎 |
| 会計区分 | 一般会 | 会計 | | | | | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | - | | | | | 関係する計画 通知等 | 划 、 救急医療対策事業実施要綱等 | | | | | |
| 主要政策・施策 | _ | | | | | | 主要経費 | 社会保障 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内) | 「姿を簡」 行程度以 | | | | | | | | | | | |
| | 小児救急医療を担う医療機関の運営費や小児救急医療に従事する医師等の研修 事業概要 (5行程度以内。 補助対象: 地方公共団体、地方独立行政法人等 | | | | | | 修に必要 | な経費につい | いて財政支援を行う。 | | | |
| 実施方法 | 補助 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 26 | 6年度 | | 27年度 | 2 | 8年度 | 29年度 | 30 | 0年度要求 |
| | | 当初予 | 算 | 151億円 | の内数 | 134億 | 意円の内数 | 150億円 | の内数 | 154億円の内数 | 156億円 | の内数 |
| | | 補正予 | | | - | | - | | - | _ | | |
| | 予算 の状 | 算前年度から繰越し | | | _ | | _ | | _ | _ | | |
| 予算額・ | 別な | 翌年度へ終 | 越し | | _ | | _ | | _ | - | | |
| 執行額 (単位:百万円) | | 予備費 | 等 | | - | | - | | _ | - | | |
| (| | 計 | | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | | 0 |
| | | 執行額 | | | 318 | | 274 | | 390 | | | |
| | | 執行率(%) | | | _ | | _ | | _ | | | |
| | | 予算+補正予算 執行額の割合 | | #0 |)IV/0! | | #DIV/0! | #I | DIV/0! | | | |
| | U 1. | 歳出予算目 | | 29年度 | 当初予算 | 30 | 0年度要求 | | | 主な増減理 | 曲 | |
| | 医療技 | 是供体制推進 補助金 | 事業費 | 154億円 | の内数 | 156億 | 意円の内数 | | | | | |
| | | 1111-953 | | | | | | | | | | |
| 平成29-30年度 | | | | | | | | | | | | |
| 予算内訳 (単位:百万円) | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | 計 | | | 0 | | 0 | | | | | |

| | | | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 中間目標 | 目標最終年 | |
|-----------------|---|--|--|---|---|--|--|--|---|--|--|--|
| 果具 | | 娃 | | | 成果実績 | % | 19.3 | 19.4 | 集計中 | - 年度 | 29 年度 | |
| 成果実績 (アウトカム) | | , \ | ロ10万列/を削牛及以下に ロ10万劫) | | | % | 18.6 | 19.3 | 19.4 | _ | 精査中 | |
| | | | する。 | | 達成度 | % | 99 | 99 | _ | _ | _ | |
| 計 | | | 人口動態調査(厚生労働省 |) | | | | | | | | |
| | | 及び | 活動 | 指標 | | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 活動見込 | 30年度 活動見込 | |
| | 助実約 | 績 | 小児救命救急センター設置 | ж л | 活動実績 | 施設 | 8 | 10 | 12 | - | - | |
| | | / / | 小元秋叩秋志センダー故画 | 奴 | 当初見込み | 施設 | 8 | 8 | 11 | 14 | 14 | |
| 動指 | 旨標』 | 及び | 活動 | 指標 | | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 活動見込 | 30年度 活動見込 | |
| | 助実約 | 績 | 小児初期救急センター数 | | 活動実績 | 施設 | 11 | 13 | 15 | _ | _ | |
| | | , , | 17元初州水心ピング 数 | | 当初見込み | 施設 | 13 | 11 | 13 | 15 | 15 | |
| | | | 算出 | 根拠 | | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年原 | 度活動見込 | |
| 単位 | | - • | 単位当たりコ | コスト=X/Y | 単位当たりコスト | 百万円 | 39 | 26.8 | 31.9 | | 27.4 | |
| | スト | | X∶執 Y∶小児救命救 | 計算式 | X/Y | 312百万円/8 | 268百万円/10 | 383百万円/12 | 383≩ | 百万円/14 | | |
| | | | 算出 | 根拠 | | 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年月 | 度活動見込 | |
| 単位 | 当た | <u>-</u> り | 単位当たりコ | コスト=X/Y | 単位当たり コスト | 百万円 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | | 0.5 | |
| ⊐. | スト | | | に行額 女急センター数 | 計算式 | X/Y | 6百万円/11 | 6百万円/13 | 7百万円/15 | 7百万円/15 | | |
| | | 政策 | 基本目標 I 安心・信頼して 施策大目標1 地域にお | でかかれる医療の確保と国民 いて必要な医療を提供でき | その健康で る体制を整 | くりを推り Mana Caracara Mana Caracararararararararararararararararara | [5 [6] | | | | | |
| | | | 日常生活圏の中で良質かつ |)適切な医療が効率的に提係 | | 制を整備 | すること(施気 | | | 中間目標 | 目標年度 | |
| j | | 施策 | 日常生活圏の中で良質かつ | | | | | €目標 I −1 | -1) 28年度 | 中間目標 | | |
| Į į | 政策評価 | 施策測定指 | 日常生活圏の中で良質かつ |)適切な医療が効率的に提供 的指標 | | 制を整備 | すること(施気 | | | | | |
| | | 施策測定指 | 日常生活圏の中で良質かっ定量的 |)適切な医療が効率的に提供 的指標 | 共できる体 | 制を整備単位 | すること(施策 | 27年度 | | | | |
| | | 施策測定指 | 日常生活圏の中で良質かっ定量的 |)適切な医療が効率的に提供 的指標 110万対) | 共できる体実績値目標値 | 制を整備 単位 % % | すること(施算 26年度 19.3 | 27年度 19.4 19.3 | 28年度 - | | | |
| | 政策評価 | 施制定指標 | 日常生活圏の中で良質かっ定量的 | の適切な医療が効率的に提供 的指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び | 共できる体実績値目標値成果と上位が小児初期 | 制を整備 単位 % な施策・測 救急セン | すること(施登 26年度 19.3 18.6 定指標との関 | 27年度 19.4 19.3 | 28年度 - 19.4 | - 年度 - - | 29 年度 - - | |
| | 政策評価 | 施制定指標 | 日常生活圏の中で良質かっ 定量的 幼児(1~4歳)死亡率(人口 数急医療の中心的役割を担意 いて支援を行うことにより幼 | の適切な医療が効率的に提供 的指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び | 共できる体実績値目標値成果と上位が小児初期 | 制を整備 単位 % な施策・測 救急セン | すること(施登 26年度 19.3 18.6 定指標との関 | 27年度 19.4 19.3 | 28年度 - 19.4 | - 年度 - - | 29 年月 | |
| | 政策評価 | 施 測定指標 小費 改項 (| 日常生活圏の中で良質かっ 定量的 幼児(1~4歳)死亡率(人口 数急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより数 分野: | の適切な医療が効率的に提供 的指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び | 共できる体実績値目標値成果と上位が小児初期 | 制を整備 単位 % な施策・測 救急セン | すること(施知 26年度 19.3 18.6 定指標との例 ターの運営やる。 | 27年度 19.4 19.3 | 28年度 - 19.4 | - 年度 - - る医師等の研 中間目標 | 29 年度 - - T修に必要な新 | |
| | 政策評価 | 施 測定指標 小費 改項 (第 ・ | 日常生活圏の中で良質かっ 定量的 幼児(1~4歳)死亡率(人口 数急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより数 分野: | の適切な医療が効率的に提供 内指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び 可児(1~4歳)死亡率(人口1 | 共できる体実績値目標値成果と上位が小児初期 | 制を整備単位 % % 数善 2 位 数 数 | すること(施 26年度 19.3 18.6 定指標とのほ ターの運営や | 27年度 19.4 19.3 写係 5小児救急医 | 28年度 - 19.4 療に従事す | - 年度 - - る医師等の研 | 29 年度 - - T修に必要な紀 目標最終年 | |
| | 政策評価 | 施 測定指標 小費 改項 (第一 | 日常生活圏の中で良質かっ 定量的 幼児(1~4歳)死亡率(人口 数急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより数 分野: | の適切な医療が効率的に提供 内指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び 可児(1~4歳)死亡率(人口1 | 共できる体 実績値 成果と上位 が小児対)が | 制を整備単位 % % 数善 2 位 数 数 | すること(施知 26年度 19.3 18.6 定指標との例 ターの運営やる。 | 27年度 19.4 19.3 写係 5小児救急医 | 28年度 - 19.4 療に従事する 29年度 | - 年度 - - る医師等の研 中間目標 | 29 年度 - - T修に必要な新 | |
| アクシ | 政策評価 | 施 測定指標 小費 改項 (第 ・ | 日常生活圏の中で良質かっ 定量的 幼児(1~4歳)死亡率(人口 数急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより数 分野: | の適切な医療が効率的に提供 内指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び 可児(1~4歳)死亡率(人口1 | 共できる体 実績値 成果と上位 が小万対)が 成果実績 | 制を整備単位 % % 数善され 単位 | すること(施知 26年度 19.3 18.6 定指標との例 ターの運営や る。 | 27年度 19.4 19.3 1 1 1 1 1 1 1 1 | 28年度 - 19.4 療に従事すん 29年度 - | - 年度 | 29 年度 - - T修に必要な新ります。 日標最終年 - 年度 - 年度 - 年度 | |
| アクション・ブ | 政策評価というでは、「おおおり」というでは、「おおり」 これ | 施 測定指標 小費 改項 (第一階層) (策 児に 革目 KPI に | 日常生活圏の中で良質かっ定量的 対別(1~4歳)死亡率(人口 対急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより対 分野: - K (第一 | の適切な医療が効率的に提供 内指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び 可児(1~4歳)死亡率(人口1 | 共できる体 実績値 成 小万 成 目標値 成果 標値 | 制を整備 単位 % % 数 兼 ・ 単位 力 一 一 | すること(施知 26年度 19.3 18.6 定指標との例 ターの運営する。 計画開始時 - 年度 | 27年度 19.4 19.3 19.8 5小児救急医 28年度 - - | 28年度 - 19.4 療に従事すん 29年度 - - | - 年度 | 29 年度 - - - 目標最終年 - - 目標最終年 | |
| アクション・プログ | 政策評価というでは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学 | 施 測定指標 小費 改項 (第一階層) (策 児に 革目 KPI に | 日常生活圏の中で良質かっ定量的 対別(1~4歳)死亡率(人口 対急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより対 分野: - K (第一 | の適切な医療が効率的に提供 内指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び 可児(1~4歳)死亡率(人口1 PI 階層) | 共できる | 制を整備 単位 % % 液 策・測 とされ 単位 ー ー % | すること(施発 26年度 19.3 18.6 定指標との限 ターの運営や る。 計画開始時 | 27年度 19.4 19.3 写係 5小児救急医 - - - | 28年度 - 19.4 療に従事すん - - - | - 年度 - 年度 - 日 - の研 - 日 - 中間 - 中間 | 29 年度 - - - 目標最終年 - - 目標最終年 | |
| アクション・ブロ | 政策評価というでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、 | 施 測定指標 小費 改項 (第 ・ | 日常生活圏の中で良質かっ定量的 対別(1~4歳)死亡率(人口 対急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより対 分野: - K (第一 | の適切な医療が効率的に提供 内指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及び 可児(1~4歳)死亡率(人口1 PI 階層) | 共できる体 実 目 果 児対 成 目 達 成 小万 果 標 値 度 | 制を整備 単位 % % 液 策・測 とされ 単位 ー ー % | すること(施発 26年度 19.3 18.6 定指標との限 ターの運営や る。 計画開始時 | 27年度 19.4 19.3 写係 5小児救急医 - - - | 28年度 - 19.4 療に従事する 29年度 29年度 | - 年度 - 年度 - 日 - の研 - 日 - 中間 - 中間 | 29 年度 | |
| アクション・プログラ | 政策評価というでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、 | 施 測定指標 小費 改項 (第一階層) (第二階層 | 日常生活圏の中で良質かっ定量的 対別(1~4歳)死亡率(人口 対急医療の中心的役割を担づいて支援を行うことにより対 分野: - K (第一 | の適切な医療が効率的に提供 内指標 110万対) 本事業の う小児救命救急センター及で 可児(1~4歳)死亡率(人口1 PI 階層) | 世 実 目 果 児対 成 目 達 成 目 達 成 目 達 成 し | 制を整備 単位 % % *** *** *** *** *** *** *** *** ** | すること(施発 26年度 19.3 18.6 定指標との限 ターの運営や る。 計画開始時 | 27年度 19.4 19.3 I係 28年度 - - 28年度 - - - - - - - - - | 28年度 - 19.4 療に従事する 29年度 29年度 | - 年度 - 年度 - 日 - の研 - 日 - 中間 - 中間 | - - - 目標最終年 - 年度 - | |

| | | | 事業所管部局による点検 | • 改善 | |
|----------------|---------------|----------------------------------|---|---------------------------------------|---|
| | | | 項目 | 評価 | 評価に関する説明 |
| ———— 国 費 | 事業の目的 | は国民や社会のニース | ぐを的確に反映しているか。 | 0 | 救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かすこと ができないものであり、国費を投入すべき。 |
| 投入 | 地方自治体 | 、民間等に委ねること | ができない事業なのか。 | 0 | 救急医療の充実を図っていくためにも、引き続き国の施策と して実施すべき事業である。 |
| の必要性 | 政策目的の 事業か。 | 達成手段として必要か | つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い | 0 | 今後の我が国の社会を担う若い生命を守り、育て、また保護者の育児面における安心の確保を図る観点から休日夜間を含め小児救急患者の受入ができるが体制を整備することは重要であることから、優先度は高い。 |
| | 競争性が確 | 保されているなど支出 | 先の選定は妥当か。 | - | |
| | | 競争契約、指名競争契 な札又は一者応募とな | 約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 ったものはないか。 | 無 | _ |
| | 競争性 | 生のない随意契約となる | ったものはないか。 | 無 | |
| _ | 受益者との1 | 負担関係は妥当である | か。 | 0 | 国庫補助率は1/3又は1/2となっており、受益者も応分 の負担をしている。 |
| 事業 | 単位当たり | コスト等の水準は妥当な | <i>ڼ</i> ۰。 | 0 | 当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。 |
| の効率性 | 資金の流れ | の中間段階での支出に | は合理的なものとなっているか。 | 0 | 地域の実情に応じて、都道府県が補助先等を選定しており、 また概算払いも可能となっていることから、支出を委任してい る都道府県において、合理的に支出されているものと考え る。 |
| | 費目・使途が | が事業目的に即し真に | 必要なものに限定されているか。 | 0 | 医療提供体制推進事業費補助金交付要綱に記載する当該 補助事業の対象経費を交付額の算定方法に従い算出して |
| | 不用率が大 | きい場合、その理由は | 妥当か。(理由を右に記載) | - | _ |
| | 繰越額が大 | きい場合、その理由は | 妥当か。(理由を右に記載) | - | - |
| | その他コスト | ・削減や効率化に向け: | た工夫は行われているか。 | - | _ |
| 事 業 | 成果実績は | 成果目標に見合ったも | のとなっているか。 | 0 | 28年度は成果実績については集計中であるが、27年度の成 果実績については目標に見合っている。 |
| の 有 効 | | 当たって他の手段・方注 氐コストで実施できてい | 去等が考えられる場合、それと比較してより効果 るか。 | - | _ |
| 性 | | 見込みに見合ったもの | | 0 | 活動実績は見合ったものとなっている。 |
| | 整備された抗 | を設や成果物は十分に | 活用されているか。 | - | - |
| 関連 | | 業がある場合、他部局 体的な内容を各事業 <i>0</i> | ・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役) ろに記載) | - | |
| 事業 | 所管府省名 | 事業番号 | 事業名 | | |
| 一点検・改善 | 点検結果 | 19.3%、平成27年度19 年度10施設、平成28年 | 9.4%と若干の増加がみられる。また、小児救命救育 F度12施設と施設数が増えており、引き続き、休日 | ●センター・夜間を含 | L 正亡率(人口10万対)が平成25年度18.6%、平成26年度 −については、平成25年度8施設、平成26年度8施設、平成27 含め小児救急患者の受入ができる体制の整備を図っていく必 基金において対象となる事業であり、平成25年度までで事業 |
| 善結果 | 改善の | | -の整備事業等については、引き続き、救急患者カ | 円滑に受 | 受け入れられるように体制の整備を行いつつ、適正な予算執 |

外部有識者の所見

小児救急医療体制の充実を目的とした事業であり、地交体等に対する補助を行っている。アウトカム指標も高い達成率となっており、現状維持としたい。(増田 正志)

行政事業レビュー推進チームの所見

現 り状 通

外部有識者の所見を踏まえ、引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現

り状通

引き続き必要な予算額を確保し、適正な執行に努めていく。

備考

〇事業仕分け第1弾 平成21年11月12日

事業番号: 2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」

評価結果:予算要求の縮減(半額)

とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだと考える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要ならば平成22年度補正予算での対応もありえると考える。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。

○事業仕分け第3弾 平成22年11月16日

事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」

評価結果:見直しを行う

とりまとめコメント: 診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろな議論があったので、減らす方向での対応をしっかりやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。

関連する過去のレビューシートの事業番号

| | Man Canada — V I W John J | | | | | | | | | |
|--------|---------------------------|--------|-------|--------|-------|--|----------|--|--|--|
| 平成22年度 | 54 | 平成23年度 | 46 | 平成24年度 | 024-7 | | / | | | |
| 平成25年度 | 004-7 | 平成26年度 | 004-7 | 平成27年度 | 003-4 | | | | | |
| 平成28年度 | 003-4 | | | | | | <i></i> | | | |

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 厚生労働省 平成28年度 390百万円 ※補助先: 都道府県(間接補助先: 市町村、その他厚生労働大臣が認める者) 補助率:1/3 【補助金等交付】 A. 都県(15) 390百万円 (補助額1位:埼玉県 70百万円) 小児救急医療を担う医療機関の運営費や小児救急医療に従事する医師等の 研修に必要な経費について財政支援を行う。 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ 【補助金等交付】 ているかについ て補足する) (単位:百万円) B. 埼玉県医療機関等 (2) 70百万円 (補助額1位:埼玉医科大学総合医療 センター 60百万円) 【上記医療機関の運営に係る給与等、研修に係る経費等】

| | | A.埼玉県 | | [| B.埼玉医科大学総合医療センタ・ | |
|---------------------|-----|----------------------------|-------------|-----|------------------|--------------|
| | 費目 | 使 途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | 補助金 | 小児救急医療を担う医療機関の運営に対す る補助 | 70 | 給与費 | 小児科医、看護師等給与費 | 41 |
| 費目▪使途 | | | | その他 | 消耗品費等 | 19 |
| (「資金の流れ」に | | | | | | |
| おいてブロックご とに最大の金額 | | | | | | |
| が支出されている 者について記載 | | | | | | |
| する。費目と使途の双方で実情が | | | | | | |
| 分かるように記載) | | | | | | |
| 4. 7 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 計 | | 70 | 計 | | 60 |

支出先上位10者リスト

Α

| Α. | | | | | | | | |
|----|-------|---------------|--------------------------|------------|--------|-------------|-----|---|
| | 支 出 先 | 法人番号 | 業務概要 | 支 出 額(百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
| 1 | 埼玉県 | 1000020110001 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 70 | 補助金等交付 | - | - | - |
| 2 | 東京都 | 8000020130001 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 69 | 補助金等交付 | - | - | - |
| 3 | 長野県 | 1000020200000 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 48 | 補助金等交付 | - | - | - |
| 4 | 福岡県 | 6000020400009 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 44 | 補助金等交付 | ı | 1 | - |
| 5 | 香川県 | 8000020370002 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 32 | 補助金等交付 | - | - | - |
| 6 | 熊本県 | 7000020430005 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 32 | 補助金等交付 | - | - | - |
| 7 | 茨城県 | 2000020080004 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 31 | 補助金等交付 | - | - | - |
| 8 | 愛知県 | 1000020230006 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 31 | 補助金等交付 | _ | _ | - |
| 9 | 静岡県 | 7000020220001 | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 28 | 補助金等交付 | _ | _ | _ |
| 10 | 福島県 | 7000020070009 | 小児初期救急センター運 営事業に対する補助 | 2 | 補助金等交付 | _ | | _ |

В

| | 支 出 先 | 法人番号 | 業務概要 | 支 出 額(百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|--------------------|------|--------------------------|------------|--------|----------------|-----|---|
| 1 | 埼玉医科大学総合 医療センター | | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 60 | 補助金等交付 | I | - | - |
| | 埼玉県立小児医療 センター | | 小児救命救急センター運 営事業に対する補助 | 10 | 補助金等交付 | - | - | - |

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

| | ブロック 名 | 契 約 先 | 法 人 番 号 | 業務概要 | 契約額 (百万円) | 契約方式 | 入札者数 (応募者 数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上) |
|---|-----------|-------|---------|------|--------------|------|--------------------|-----|---|
| 1 | | _ | - | - | _ | | _ | 1 | - |